

『2014展望－建設コンサルタント』

建設技術研究所 村田和夫社長「コスト競争からの脱却目指す」

ACKグループ 野崎秀則社長「開拓精神あふれる人材育てる」』

2014展望



ACKグループ

野崎秀則社長

建設コンサルタント

安倍政権発足後、インフラ整備に対する国民の理解は深まると実感している。公共事業予算も一定程度確保され、国内

13年12月期の業績は、単体も連結も中期計画の目標に到達できたと考えている。受注高が増加し、先行きにも明るさが見え

建設技術研究所

村田和夫社長

市場は順調に推移するとみている。経営ビジョンで掲げた2020年の姿、従来の業務にどうわざり經營するという精神は変わっていない。だが、国・内外民間、海外という3軸經營だけで果たしていいのかと言えば、欠けている部分が

必要だ。14年の事業環境は、いつん踊り場に入るとみている。体制を整えるた

建設コンサルタント

市場は順調に推移するとあると思っている。

建設コンサルタントに

は今、技術やサービスの質的向上と総合化が求められている。自ら事業主

は変わっていない。だが、

國内公共、国内外民間、海外という3軸經營だけ

で果たしていいのかと言えば、欠けている部分が

開拓精神あふれる人材育てる

14年は新たな未来を目指す経営ビジョンと新中長期経営計画を策定する大切な年である。500億円という事業規模を見えているが、その先をどう進める。新規事業などが、受け身の体质で後押しすることができない人材確保の仕組みとして、退職した社員に復職を転換し、コスト競争からいち早く脱却することを希望があるかどうか声を掛けた。河川計画の技術者を他分野に振り向けるなど流動化の取り組みを進めた。教育改善などを進めたい。教育

整理やシニア人材の処遇改善などを進める。新規事業開拓などもあり得る。手堅い展開を基礎にすると、必要に応じて内容を詰めていく。大きな組織変などは行わなければ活躍してくれるか、1年をかけたん踊り場に入るとみている。体制を整えるた

うするのか、1年をかけたん踊り場に入るとみている。体制を整えるた

14年は新たな未来を目指す経営ビジョンと新中長期経営計画を策定する大切な年である。500億円という事業規模を見えているが、その先をどう進める。新規事業開拓などもあり得る。手堅い展開を基礎にすると、必要に応じて内容を詰めていく。大きな組織変などは行わなければ活躍してくれるか、1年をかけたん踊り場に入るとみている。体制を整えるた

うするのか、1年をかけたん踊り場に入るとみている。体制を整えるた